



〈発行〉名古屋芸術大学
子どもコミュニティーセンター

「私が！」を言える子に

子どもコミュニティーセンター長
南 元子

秋に行ったミニミニ講座「育児の悩み大展覧会 part2」では今までとは異なり、皆さんが、私の教師としての悩みに答えてくださるというスタイルになりました。様々なアイデア、心強いエールをありがとうございました。

私が日々接している学生は、卒業後に小学校の先生・幼稚園や保育園の先生になっていく学生が多いのですが、私は、先生になるための技術の前に、どんな大人になってほしいかを考えながら授業をしています。講座でもお話ししましたが、例えば

- ① 自分の気持ちを押し殺して我慢するのではなく、どんなふうに生活をしたいかイメージして、そのために工夫できる大人になってほしい。
- ② 周りに合わせて急かされるのではなく、自分のペースを大切に生活してほしい。
- ③ 男女という役割に縛られるのではなく、あなたらしさを大切に過ごしてほしい。

など沢山あります。こういう事を考える時、2歳の子と接するのも、もうすぐ大人な20歳の学生と接するのも、基本は一緒ではないかと感じます。2歳も20歳も、私たちぐらいの大人は、励ましながら願いながら待つしかありませんね。今日明日の育児で決着が着く問題でもなく、時間のかかる事なので、だから親の接し方を少しぐらい間違えたと思っても、だいたいのことは大丈夫です。

皆さんのアドバイスを聞きながら、そんなことを考えた今年度のにこにこワークショップでした。素敵な時間でした。大変お世話になりありがとうございました。では、良いお年を！



活動報告(後期)

12月現在
 親子登録数 173組
 学生登録数 51名

にこにこワークショップ

b y 芸大祭 10月27日(金)

- ・4年生によるペープサート
「はらぺこあおむし」
- ・ハロウィンのマント作り
- ・1年生による手遊び
「しあわせなら手をたたこう」
「メロンパン」
「おすしすしすし」
- ・フルーツバスケットで体を動かし
エプロンシアター(大きなかぶ)
を見ました。
- ・ストラックアウト
- ・英字新聞の手さげ袋作り



III

学生さんが中心となって進めてくれました！ ぱっちゃんカエルをお土産に！

テーマ活動内容

作って遊ぼう

お母さんと一緒に作ったよ！



- ・小麦粉粘土・ロケットバルーン
- ・マイク・手形カード
- ・ペープサート
- ・ダンボールソリ・たこ

ゼミ学生が参加しました

- 11月9日(木) 松實ゼミ
- ・パネルシアター(大きなかぶ)
 - ・キーボード、バイオリンの生演奏にあわせた踊り 他



楽しく遊ぼう

玉入れ楽しいね！



- ・わらべ歌(あぶくたった)
- ・しっぽ取り・玉入れ
- ・ボール遊び・風呂敷かくれんぼ

テーマ活動の他に自由遊びでは、ままごと・ボールプール・大型積み木
マグネット等で遊びました。



- 11月16日(木) 久保ゼミ
- ・紙芝居(三匹のこぶた)劇



戸外で遊ぼう

落ち葉がいっぱい！



- ・砂遊び・お散歩・あぶくたった
- ・かけっこ・玉入れ
- ・落ち葉遊び・フープ取り

- 11月30日(木) 酒井ゼミ
- ・パネルシアター・ばわわぷ体操
 - ・ぐるぐるどっか〜ん！



※12月14日(木)は鈴木ゼミ学生が参加します

ミニミニ講座

専門を活かした教授の講座が開かれました。さまざまな講座が開かれ、参加された保護者の感想・ご意見をまとめました。

育児の悩み大展覧会 Part2 南元子先生 2017.10.18

- ・私の学生時代を思い出しました。
- ・自分の子が大学生になり自分に自信をもつように育てて欲しいと思いました。
- ・自分を大切にすることも大事だと思いました。
- ・子育て以外の話もたまにはいいかなと思いました。

名前の不思議 茶谷薫先生 2017.11.2

- ・名前のない人、あえて変な名前を付けるなど世界の名前の付け方で知らない事がたくさんあったので勉強になりました。
- ・昔の名前の由来なんて考えた事がなく驚くことばかりでした。
- ・面白いお話でした。
- ・何十年ぶりに大学で講義を受けたようでした。また機会があれば参加したいです。

幼稚園の選び方ポイント講座 鎌倉博先生 2017.11.8

- ・すごくよいタイミングにお話を聞くことができました。
- ・もう1年早く聞きたかった内容もありました。
- ・子育てはひとつの得意よりも全体的なそこあけが重要だということが印象にのこりました。とても参考になった。
- ・バランスを重視して選ぶのが良いと分かり方向性が見えてきました。

クリエ幼稚園を探検だ！ 鎌倉博先生 2017.11.15

- ・クリエ幼稚園は大学との連携が魅力だなと感じました。
- ・園の中に学生もいて大人がたくさんいるのが魅力でした。
- ・どんぐり・葉っぱを使った作品が飾ってあり、びどうや池など自然を身近に感じられる環境がよいと思いました。
- ・実際に見学できて具体的に子どもが楽しく過ごせる想像ができました。

人生の先輩からのコメント 世代間交流(温故知新クラブ)

世代間交流では地域で活動しているおじいちゃん・おばあちゃん世代の方と一緒に遊びます！

子育て中のお母様方へ
座れば立て、立てば歩めの親心。昔からの諺にあるように親にとつて我が子の成長は、楽しみでもあり又不安でもあるものです。我が子が心身共に健やかに育つてと願う気持ちは、たとえ世代は変わっても同じです。人間にとつて一番の幸せとは何でしょうか。心身共に健康で一生を過ごすことが出来たらこんな素晴らしい事はないのではないのでしょうか。その為には幼児から思いつきりの外で遊ばせてあげて欲しいと願っています。色々な遊びの中から体力をつけ、けんかもし、人を思いやる心、人の痛みを判る心、色々な体験がお子様の成長にきつと役立つと考えます。若いお母様方どうかお子様と一緒に積極的に色々な遊びに挑戦してみてください。お願いします。

鈴川 裕之

私の子育て
重度の妊娠中毒症での出産で不安だらけで、長男の育児が始まりました。無理の利かない体で気持ちに余裕がなく毎日必死でした。一生懸命育てているつもりが自分に都合のいい子育てをしていました。例えば服を汚したり、部屋を汚すと自分が洗濯や片付けをしないといけないので叱るといふより本気で怒ったりと、子供より自分の都合ばかり優先する母親でした。寝顔を見ては反省と後悔の繰り返しでした。3年後、長女の出産後には、ようやく成長を楽しむ余裕ができましたが、まだまだ未熟で喜怒哀楽の毎日でした。もっと笑顔で見守ってあげたかったと、今では思うのですが、現在、子供達はそれぞれ家庭を持って、見ているハラハラする事もありますが、若い時に出来なかった見守る事の大切さを痛感しています。そして、つくづく子供の年齢が親年齢だと、当たり前前に感心しています。

小出 早百合

にこにこワークショップに参加して ～学生の声～



私は子どもが大好きです。4～6歳は実際に触れ合う機会が多いですが、0～3歳の子と保護者の皆さんと触れ合うのはなかなかなく、勉強させていただいています。最初保護者の方と話すのはとても怖く、話せないでいました。しかし回数を重ねていくうちにだんだん会話ができるようになり、様々なお話を聞くことができます。それは他に色々な所で役立っています。これからも沢山の経験をして実際に活かしていきたいです。

1年生 高橋 空実

私はにこにこワークショップのボランティアをやってみて勉強になったことがたくさんあります。1つは実際に子ども達と触れ合せて0～3歳の子ども達は、どのような遊びをしていて何が楽しんでもらえるかが分かること。2つ目は毎週手遊びや本を読んだりしていく中で、失敗を見つけられるので次にこうしようと反省ができ、自分の中でレパートリーが増えて楽しいです。これからもボランティアをして経験を増やしていきたいです。

1年生 峠 久美子

大学3年生の5月頃からボランティアを始めました。最初はどのように子ども達やお母さん方と関わればいいのか分からず、ただ見ているだけのことが多かったように感じます。最近では自分から声をかけ話が出来るようになってきたと感じています。またにこにこワークショップはお母さん同士の情報交換、子ども達との触れ合いの場だと考えています。いつもお母さんや子ども達から元気をもらっています。

3年生 近藤 菜美

にこにこワークショップのボランティア活動は私にとって、絵本の読み聞かせなどといった保育技術、子ども達への関わり方や保護者の方が抱える子育ての悩みについてなど勉強になる場所です。そして何より、温かい雰囲気の中、優しい先生方や保護者の方々とお話したり、可愛い子どもたちと一緒に遊んだり、とても楽しく活動させてもらっています。子ども達の笑顔を見ていると、すごく癒されます。

4年生 姫野 綾花

私はにこにこワークショップに参加することで、未就園児の子どもの様子や、様々な玩具への反応などを見ることができ、また保育経験の豊富な先生方による親子活動を一緒にさせていただくことで、将来、保育者となるための勉強を身を持って体験できています。日を追うごとに参加される親子が増えており、毎回違う悩みにぶつかりながらも、気軽に相談にのってくださる先生方のお陰で楽しく参加させていただいています。

1年生 椿 夏美

私が子ども達と接するときには、子どもの表情を見て、その子が楽しめるかどうか、何がしたいのかを読み取ることを第一に考えるようにしています。そのことによって子ども達がより楽しく過ごせる場が「にこにこワークショップ」であるように頑張っていきたいです。そのためにも親子の様子、接し方が身近で分かるこの場で早く学びたいと思います。

1年生 丸井 結惟



みんなでおもちゃの消毒をしました。
ボールプールはボールが多くて大変でした！

にこにこワークショップでは、子ども達と遊びながら、子どもの成長や発達を見て感じることができ、毎回勉強させて頂いています。また、遊んでいる子どもを見て、本当に可愛いなどと改めて感じられる場所だと思っています。保護者の方とも、話が出来る機会でもあるので、私にとっても良い所であると思っています。いつも、ありがとうございます。

4年生 日佐 琴美

お願い

- ①自由遊びの時間が短いと子どもが満足できないので利用される方は早めにお越しく下さい。
- ②使ったおもちゃは必ず元の場所へ戻してください。片付け時に不足の物がありましたら担当者にお知らせください。
- ③ボールプールの中におもちゃが入っていると危険です。持って入らないようにしてください。

来年度活動開始日

2018年5月10日(木)